

週日点

川本 裕子 早稲田大学教授



▶厚生年金保険料引き上げ

改革期待維持へ正念場

十月一日から厚生年金保険料が引き上げられる。先の通常国会で成立した年金改革法に基づく措置だが、抜本的な改革の道筋が見えないまま国民負担が増えることになる。

長い目で見て良い方向に向かっていないとの確信を国民が持てないのが現状だ。年金制度は給付水準が適正化されず、現役世代の負担にしわ寄せされる恐れも強い。郵政民営化も、資金循環のゆがみが是正されるかは不透明だ。

今週、多くの経済指標が発表されるが、景気判断は今後とも一進一退が続くだろう。原油高騰の影響も大きいのが、国内改革の先行き不透明感が個人や企業のマインドに影を落とす可能性が気掛かりだ。

二十七日に予定される内閣改造は、改革続行のメッセージを打ち出す絶好の機会だ。やれサプライズだ、踏み絵だと、前評判はやかましいが、国民や市場が「これなら世の中がよい方向に向かうはずだ」と確信を持てる姿にすることが一番大事だろう。